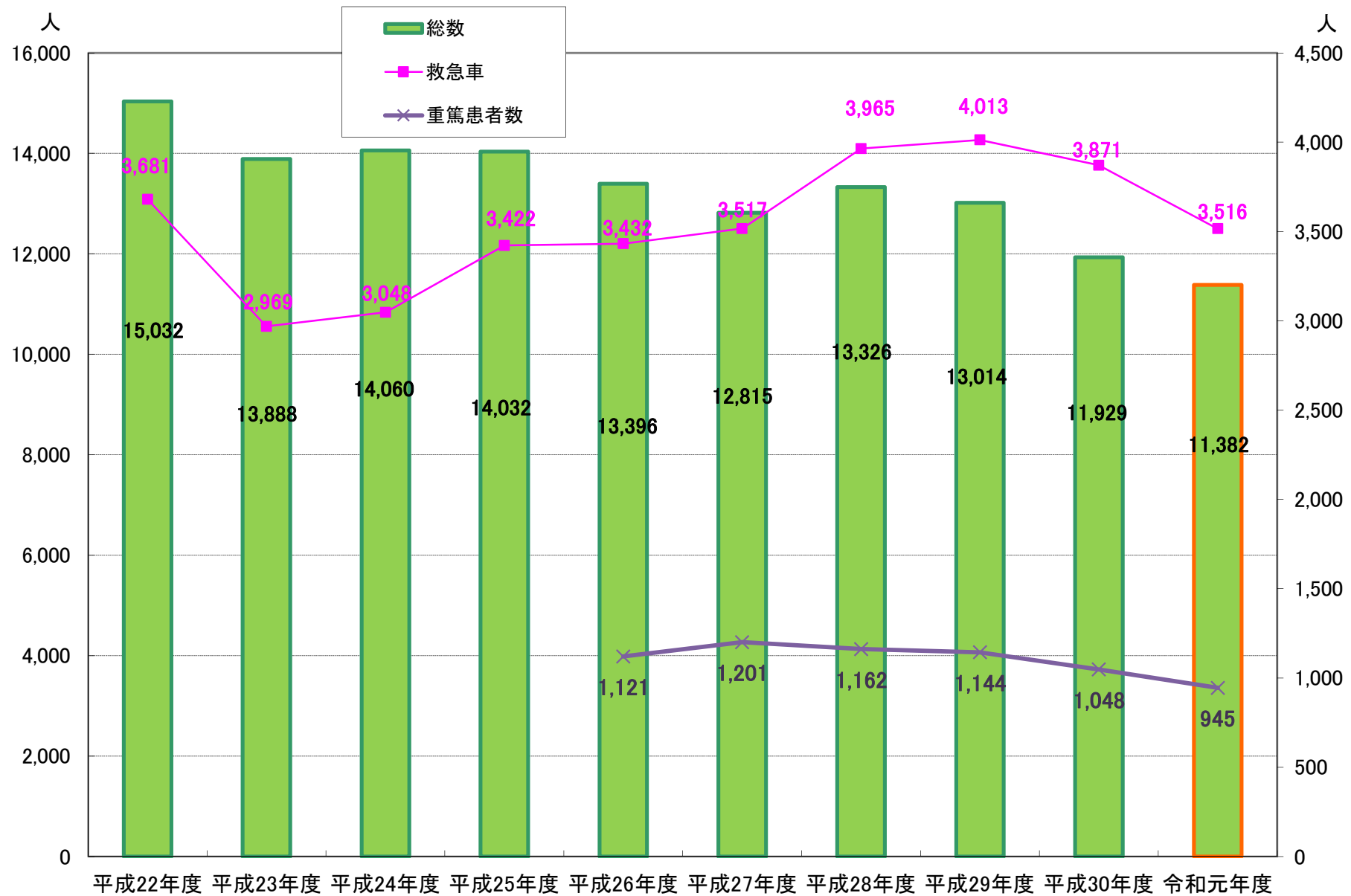
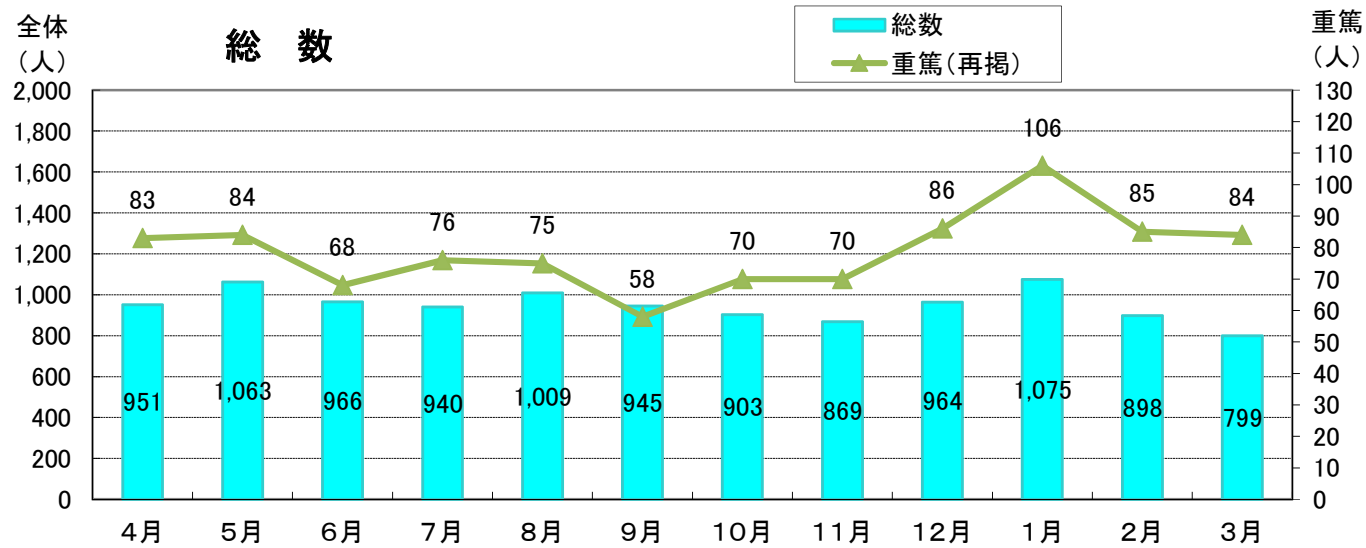


1. 救命救急センター取扱患者年度別推移(総数・救急車・重篤)

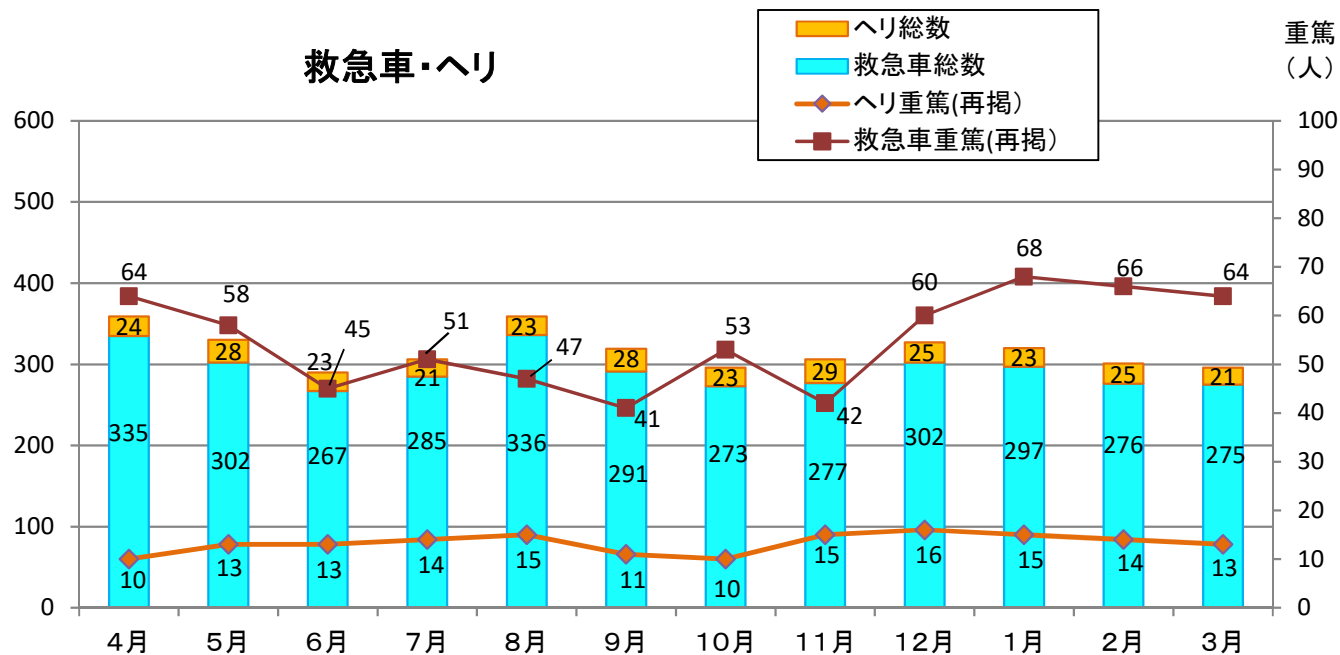


※重篤患者数: 厚労省による救命救急センター現況調査において、指定する基準を満たす重篤な患者の数

2. 救命救急センター月別取扱患者数

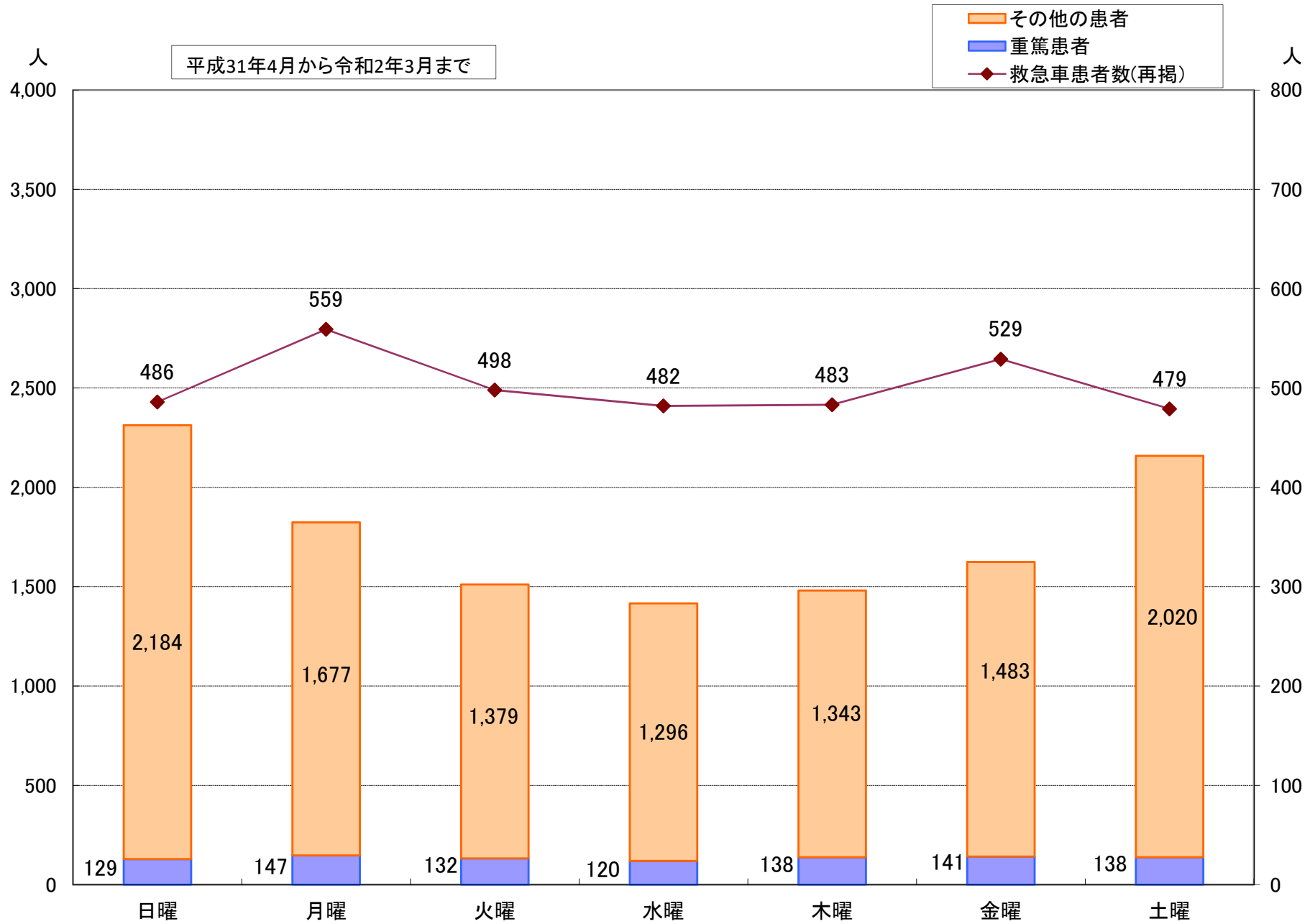


総数	11,382人
重篤患者数	945人

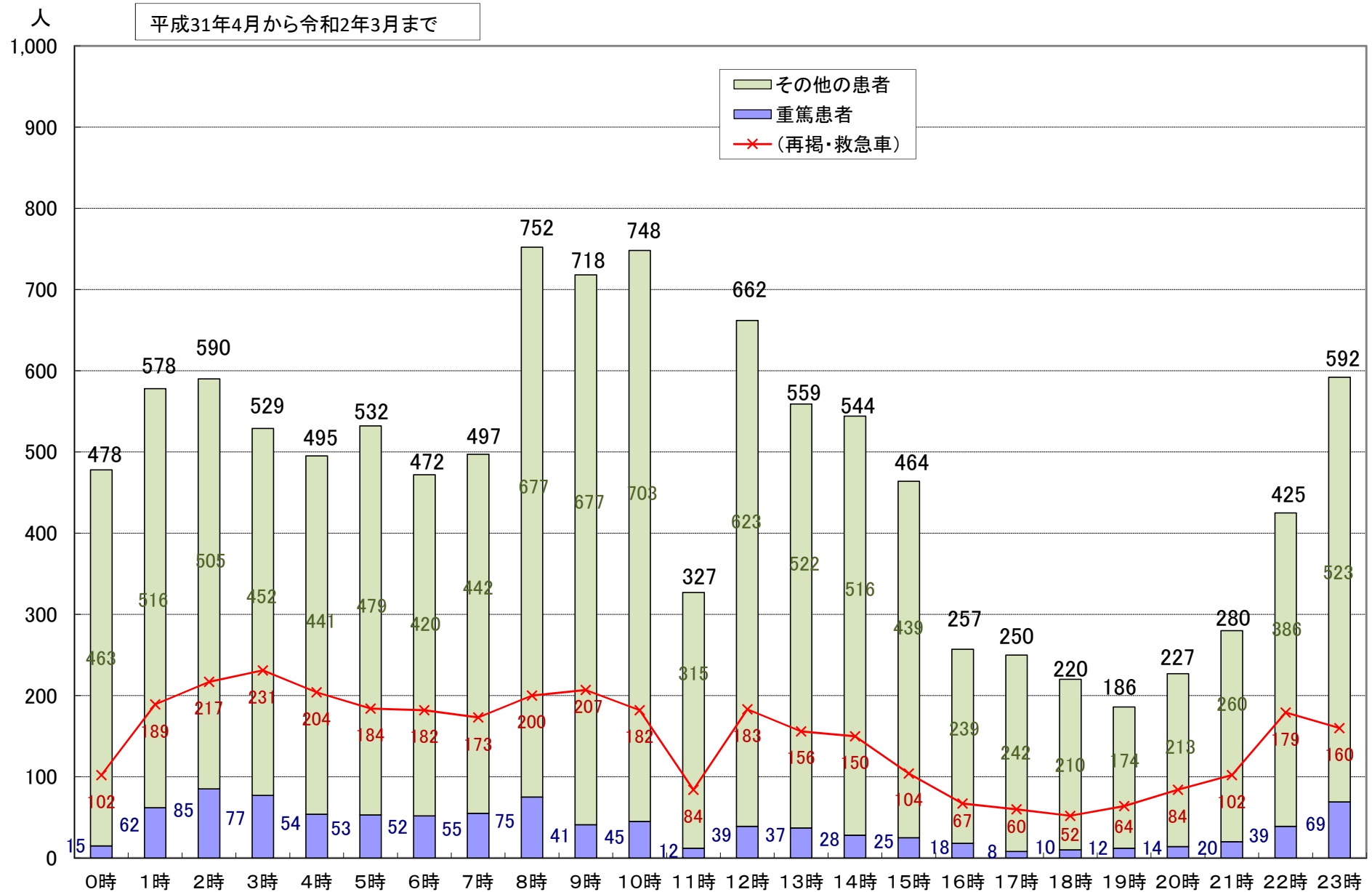


救急車総数	3,516人
救急車重篤	659人
ヘリ総数	293人
ヘリ重篤	159人

3. 曜日別救急患者・救急車患者数調

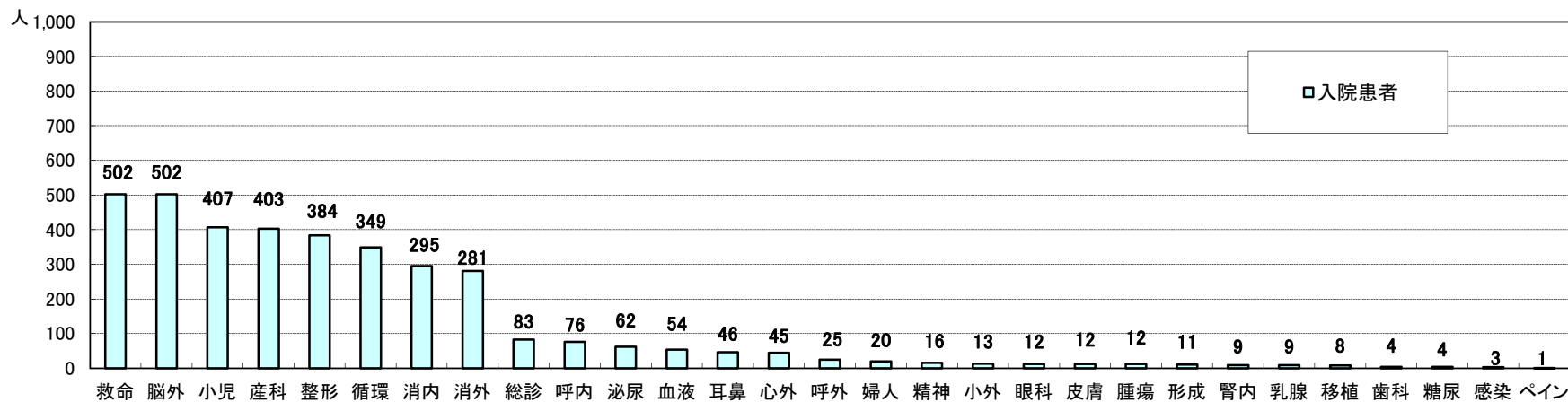


4. 時間帯別救急患者数調



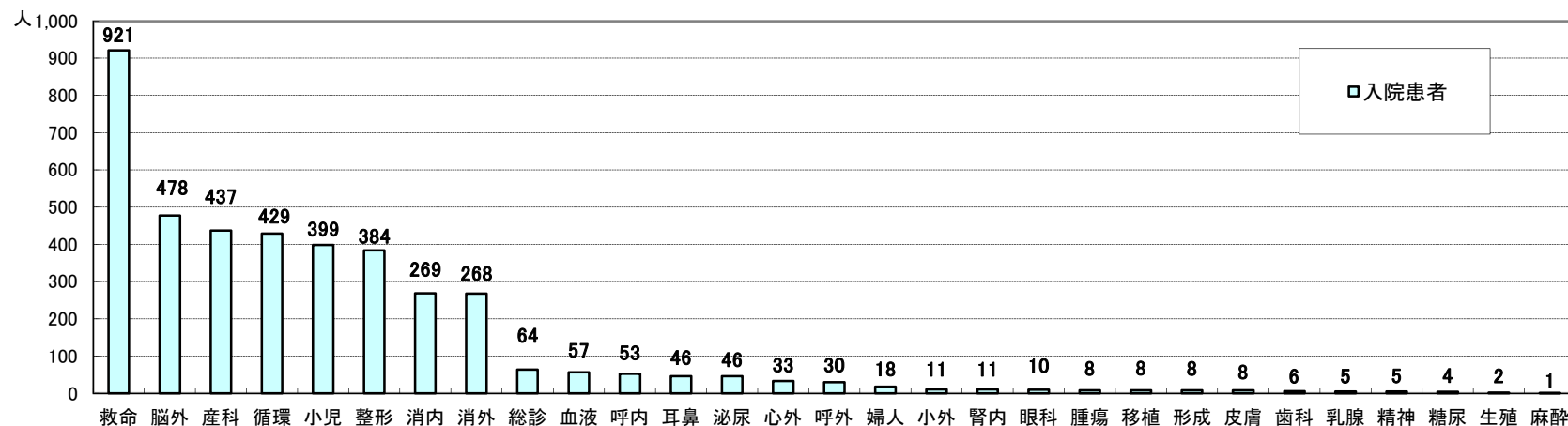
5. 令和元年度 診療科別救急患者数調

R1



R1	救命	脳外	小児	産科	整形	循環	消内	消外	総診	呼内	泌尿	血液	耳鼻	心外	呼外	婦人	精神	小外	眼科	皮膚	腫瘍	形成	腎内	乳腺	移植	歯科	糖尿	感染	ペイン	合計
入院患者	502	502	407	403	384	349	295	281	83	76	62	54	46	45	25	20	16	13	12	12	12	11	9	9	8	4	4	3	1	3,648

H30

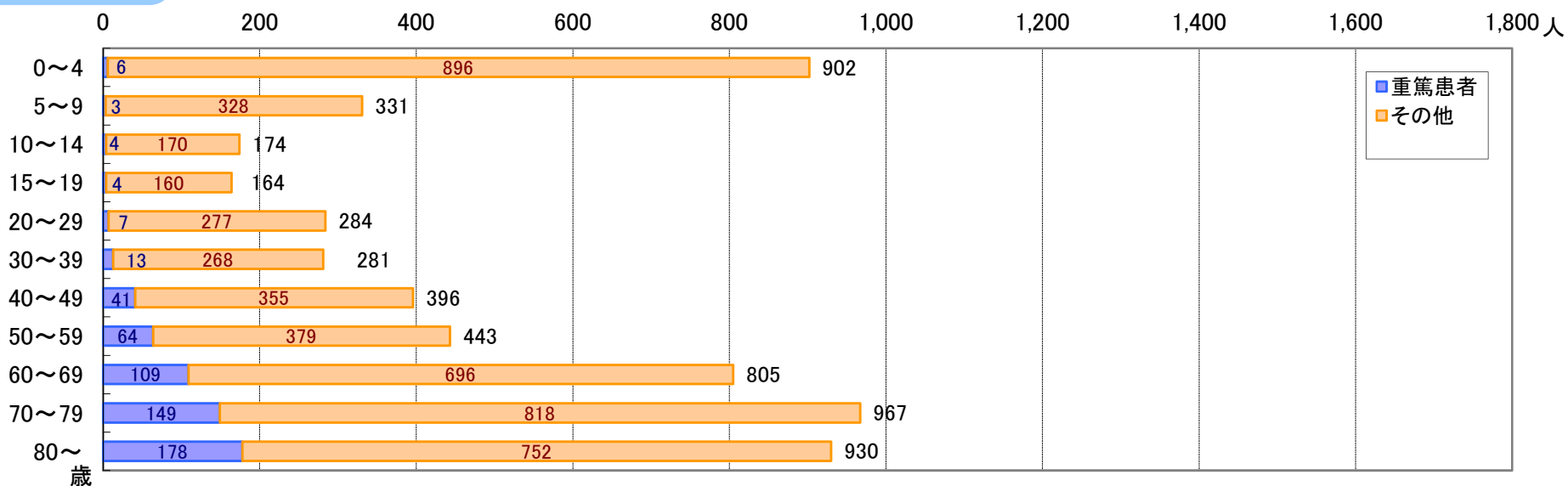


H30	救命	脳外	産科	循環	小児	整形	消内	消外	総診	血液	呼内	耳鼻	泌尿	心外	呼外	婦人	小外	腎内	眼科	腫瘍	移植	形成	皮膚	歯科	乳腺	精神	糖尿	生殖	麻酔	合計
入院患者	921	478	437	429	399	384	269	268	64	57	53	46	46	33	30	18	11	11	10	8	8	8	8	6	5	5	4	2	1	4,019

6. 年齢別・男女別取扱患者数

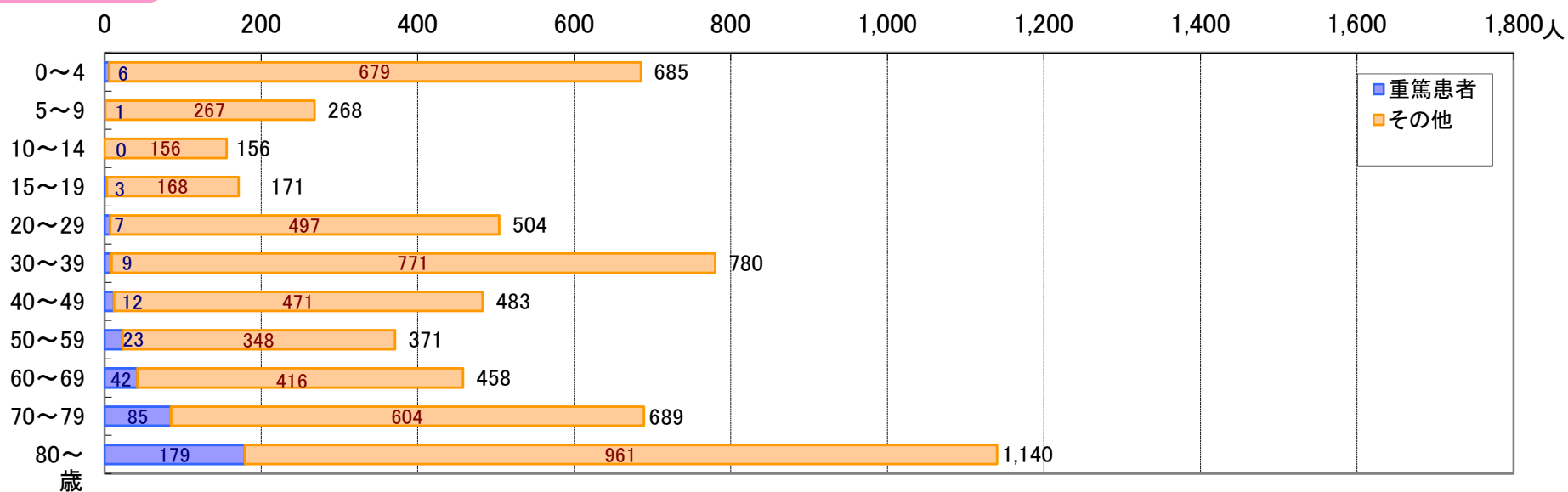
(平成31年4月から令和2年3月まで)

男 5,677人

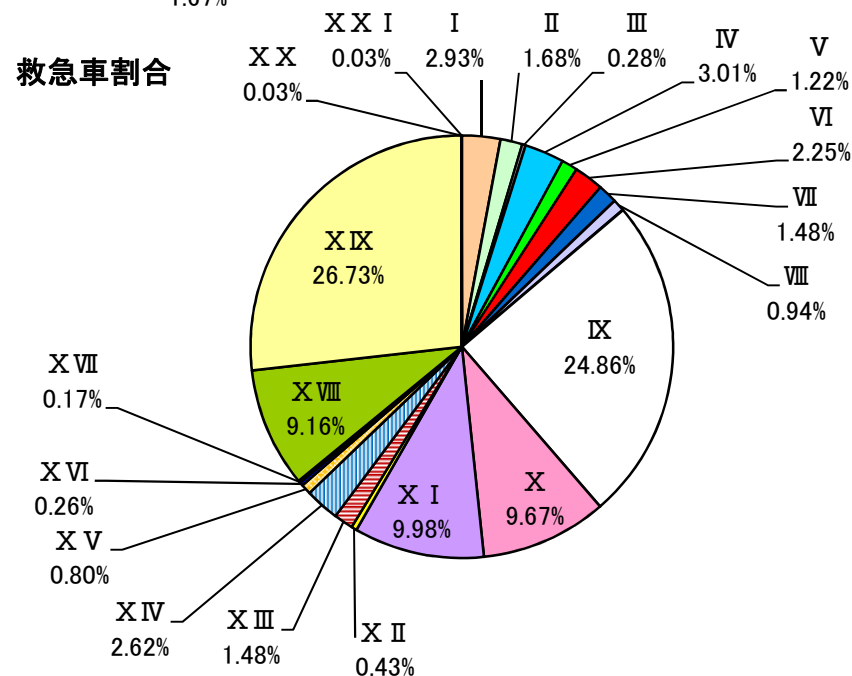
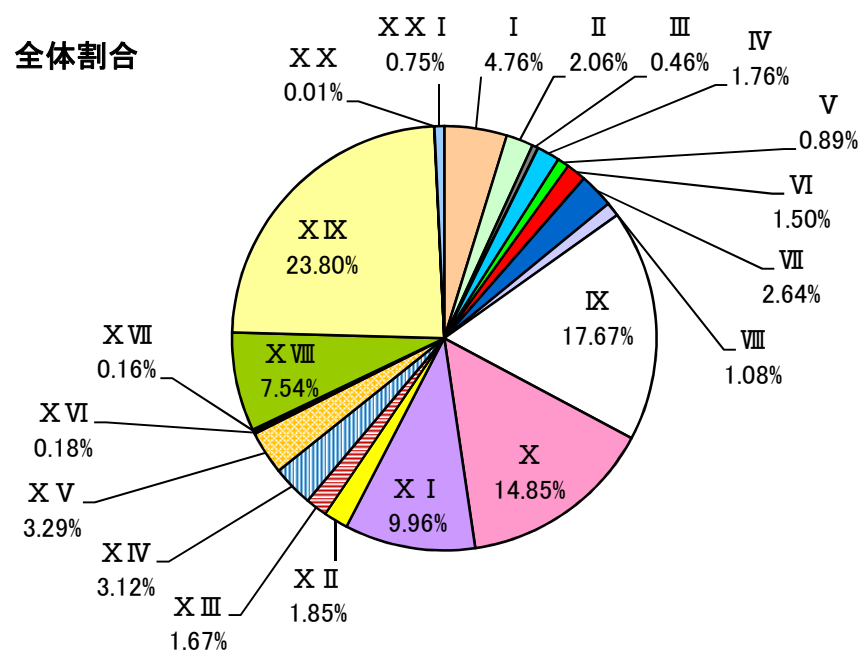


男女比
50:50

女 5,705人



7. 疾病別取扱患者数



令和元年度

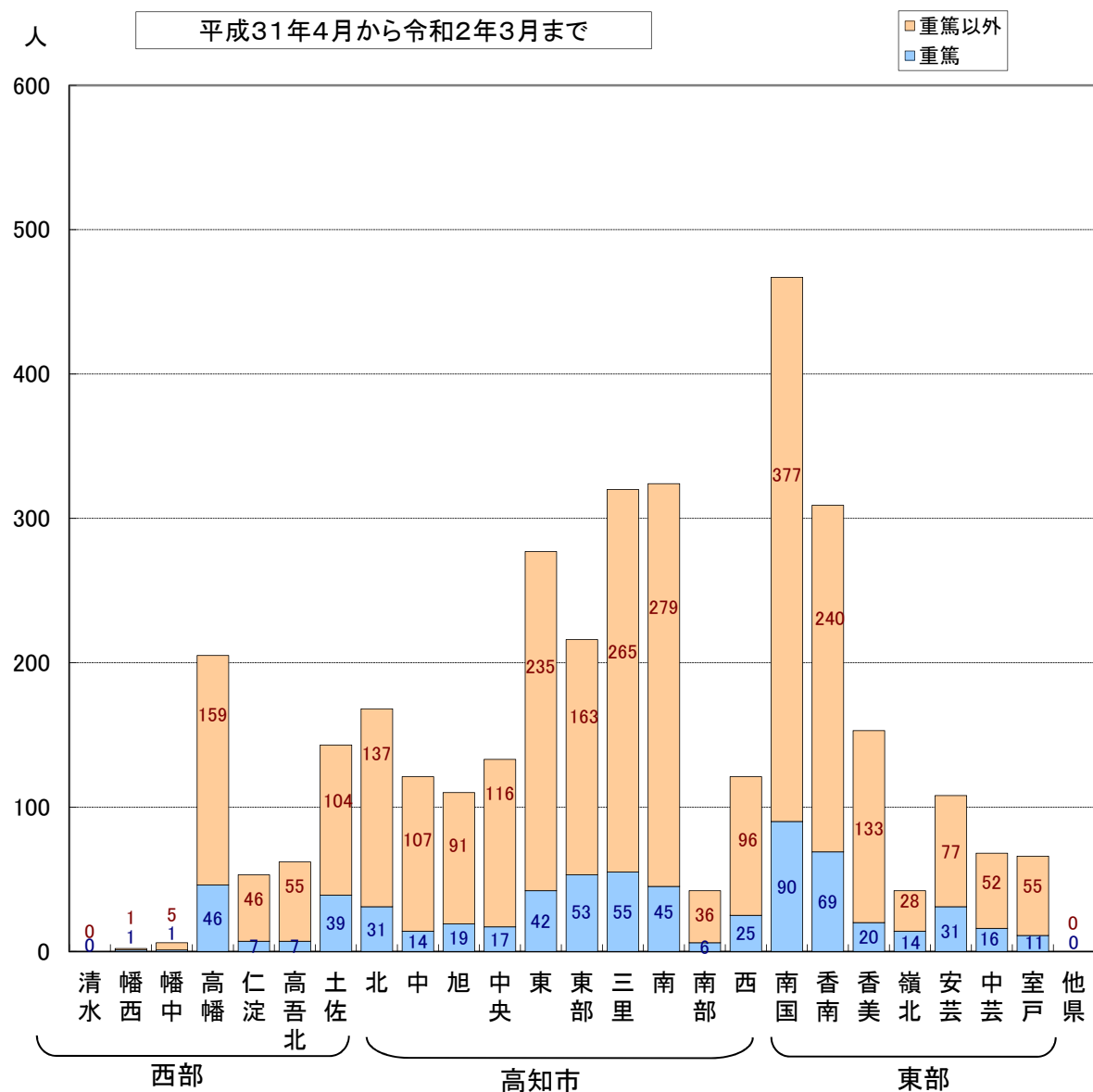
疾病区分	全体	救急車
I	542	103
II	235	59
III	52	10
IV	200	106
V	101	43
VI	171	79
VII	300	52
VIII	123	33
IX	1) 2,011	2) 874
X	1,690	340
X I	1,134	351
X II	211	15
X III	190	52
X IV	355	92
X V	375	28
X VI	21	9
X VII	18	6
X VIII	858	322
X IX	2,709	940
XX	1	1
XX I	85	1
合計	11,382	3,516

※脳血管疾患

1) 514 件

2) 369 件 を含む

8. 令和元年度 救急車地域別搬入患者数



※1 令和元年9月30日高知市南消防署南部分署閉所
 ※2 令和元年9月30日高知市中出張所閉所
 ※3 令和元年10月1日高知市中央消防署開設

		全体	重篤	重篤以外
西部	清水	0	0	0
	幡西	2	1	1
	幡中	6	1	5
	高幡	205	46	159
	仁淀	53	7	46
	高吾北	62	7	55
	土佐	143	39	104
	合計	471	101	370
	%	13.4%	15.3%	13.0%
高知市	北	168	31	137
	中	121	14	107
	旭	110	19	91
	中央	133	17	116
	東	277	42	235
	東部	216	53	163
	三里	320	55	265
	南	324	45	279
	南部	42	6	36
	西	121	25	96
合計	1,832	307	1,525	
%	52.1%	46.6%	53.4%	
東部	南国	467	90	377
	香南	309	69	240
	香美	153	20	133
	嶺北	42	14	28
	安芸	108	31	77
	中芸	68	16	52
	室戸	66	11	55
	合計	1,213	251	962
	%	34.5%	38.1%	33.7%
小計	3,516	659	2,857	
%	100.0%	100.0%	100.0%	
その他	他県	0	0	0
	合計	0	0	0
	%	0.0%	0.0%	0.0%
総合計	3,516	659	2,857	
%	100%	100%	100%	

9. 令和元年度 救命救急センター事業

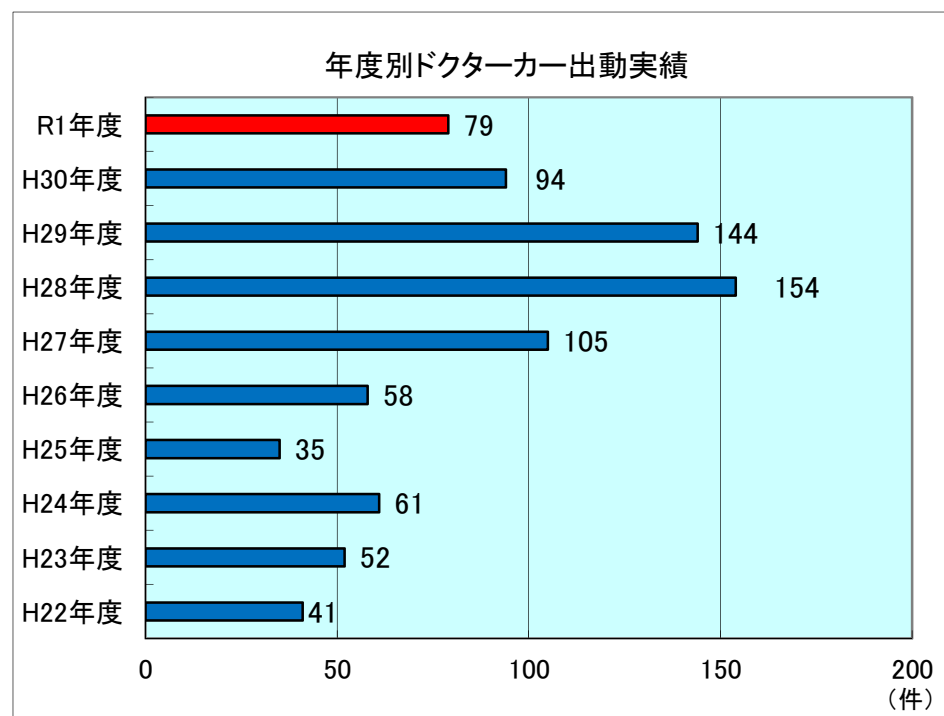
講義・実習	センター会議・症例検討会	院外会議・研修会
5/20～6/14 救急救命士就業前病院実習(3名)	4/22 第196回救急医療症例検討会 【高知医療センターにて開催】 ・口渇 ・病院連絡の重要性 ・DNAR傷病者に翻弄される救急現場の諸問題を考える	参加者 91名
5/23～6/11 救急救命士再教育に係る病院実習 (南国市消防本部13名)		
6/7～3/19 救急救命士再教育に係る病院実習 (四万十清流消防署12名)	5/27 第85回高知医療センター救急症例検討会 ・感染防御出来てますか？	参加者 55名
6/17～7/12 救急救命士就業前病院実習(3名)	6/24 第27回ドクターヘリ事後症例検討部会 ・高知県ドクターヘリの活動実績について ・車両閉じ込め事故の現場活動で我々にできることは？ ・新築の高知赤十字病院へ搬送した外傷性ショックの1例	参加者 76名
	7/5 令和元年度第1回高知医療センターICLSコース	受講生 12名
	7/21 第58回外傷外科手術治療戦略コース(SSTT)座学1日コース	受講生 29名
	7/22 第199回救急医療症例検討会 【高知医療センターにて開催】 ・実習中に経験した1件の低血糖症例から考えたこと ・エコーにて発見された疾患 ・高速道路災害図上実働訓練に参加して ・破傷風の一例 ・破傷風の看護	参加者 80名
8/19～8/28 救急救命士研修所生養成課程(3名)	8/18 令和元年度2回高知医療センターICLSコース	受講生 12名
9/9～10/11 陸上自衛隊病院実習(8名)	8/26 第28回ドクターヘリ事後症例検討部会 ・高知県ドクターヘリの活動実績について ・車中で意識消失を起こした高齢男性 ・室戸の多数傷病者対応検討	参加者 61名
10/1～10/28 救急救命士養成専門学校病院実習(2名)	10/6 令和元年度第3回高知医療センターICLSコース	受講生 16名
10/15～12/26 救急救命士再教育に係る病院実習 (仁淀消防組合消防本部17名)		10/2～10/4 全国救命救急センター長会議 第47回日本救急医学会 総会・学術総会
10/21～11/12 救急救命士養成専門学校病院実習(1名)	10/28 第202回救急医療症例検討会 【高知医療センターにて開催】 ・病院前熱傷コース(PBEC)を受講して ・外傷について	参加者 55名
11/5～3/27 救急救命士再教育に係る病院実習 (高知市消防局44名)	11/25 第86回高知医療センター救急症例検討会 ・穿通性頸部外傷の一例 ・病院救命士	参加者 68名
12/10～12/11 消防職員専科教育(救急科)病院実習 (1日あたり6名)	12/23 第29回ドクターヘリ事後症例検討部会 ・高知県ドクターヘリの活動実績について ・交通事故による6名傷病者同時発生事案への対応の実際	参加者 54名
1/14～1/31 救急救命士再教育に係る病院実習 (室戸市消防本部4名)	1/27 第87回高知医療センター救急症例検討会 ・救急看護とACP ・当院における心肺蘇生の現況	参加者 57名
1/20～1/29 救急救命士研修所生養成課程(4名)	2/2 令和元年度第4回高知医療センターICLSコース	受講生 18名
2/6～3/25 救急救命士再教育に係る病院実習 (安芸市消防本部7名)		
2/17～3/25 救急救命士再教育に係る病院実習 (香南市消防本部12名)	2/17 第205回救急医療症例検討会 【高知医療センターにて開催】 ・交通外傷にFMRC出場し、直近の高知医療センターで 初療後に手術目的に高知赤十字病院へ搬送したショック症例	参加者 26名
		10/7 救命救急センター連絡協議会

※救命救急症例検討会にはテレビ会議システムによる参加者を含む。

10.ドクターカー出動実績 平成 22年度～令和元年度

年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計
出動回数	41	52	61	35	58	105	154	144	94	79	744

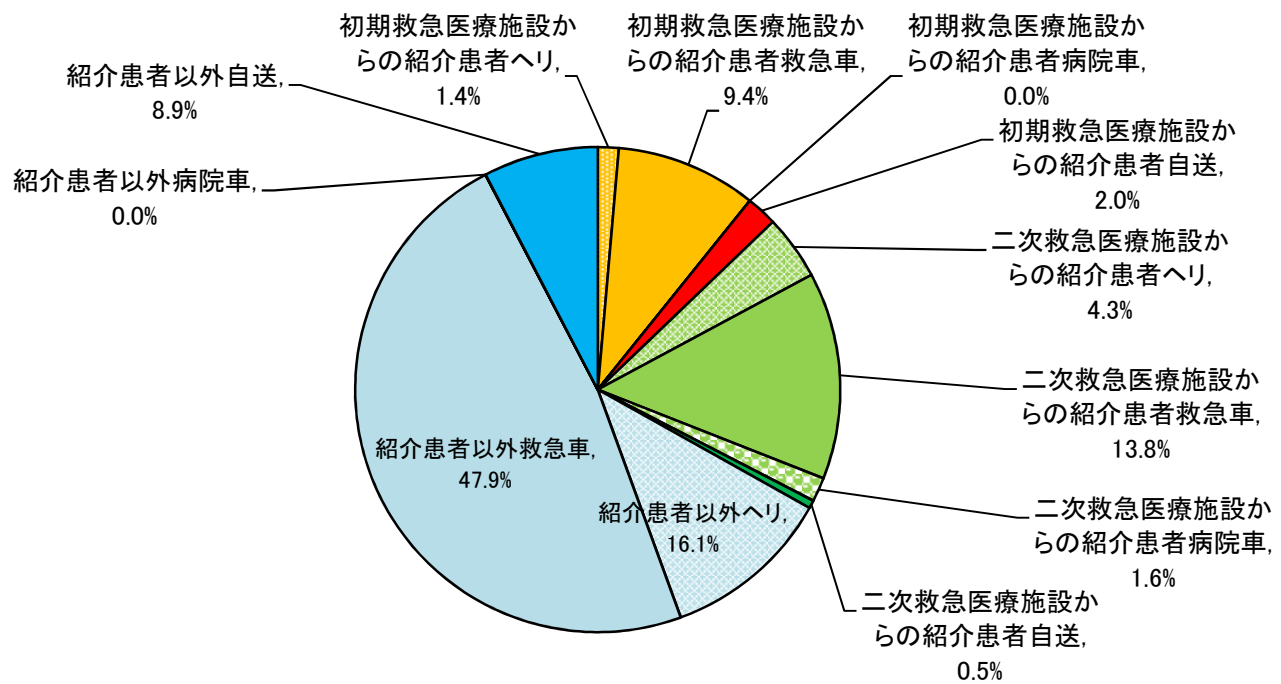
平成22年8月12日運行開始



●令和元年度 地域別出動区分別出動件数

区分	地域				総計
	西部	高知市	東部	県外	
現場	0	10	8	0	18
ランデブー	7	5	35	0	47
要請解除	0	1	13	0	14
総計	7	16	56	0	79
(再掲)	医師(救急専門医)同乗				43件 (54.4%)
	看護師同乗				42件 (53.2%)
	救急救命士(病院専属)同乗				0件 (0%)
	専任ドライバー運転				56件 (70.9%)

11. 救命救急センター取扱三次患者内訳(紹介患者搬送別)



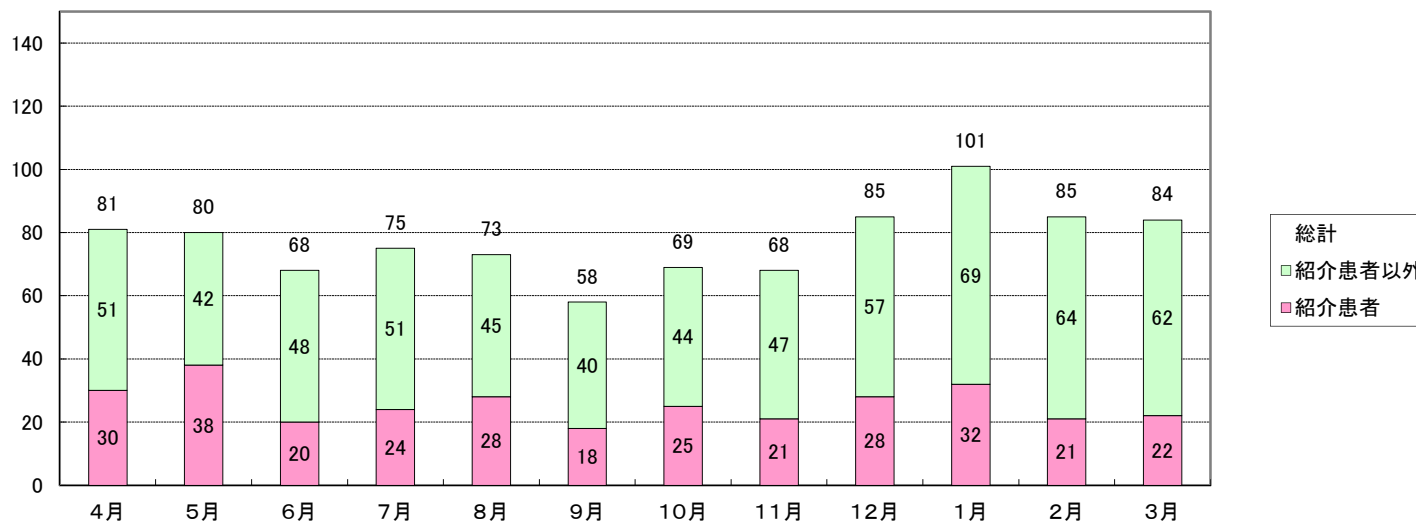
	人数	%
へリ	158	17.0%
救急車	674	72.7%
自送	95	10.2%
入院	839	92.4%
外来死亡	88	9.5%

※病院車は救急車に含む

紹介患者	紹介患者以外	総計
307	620	927

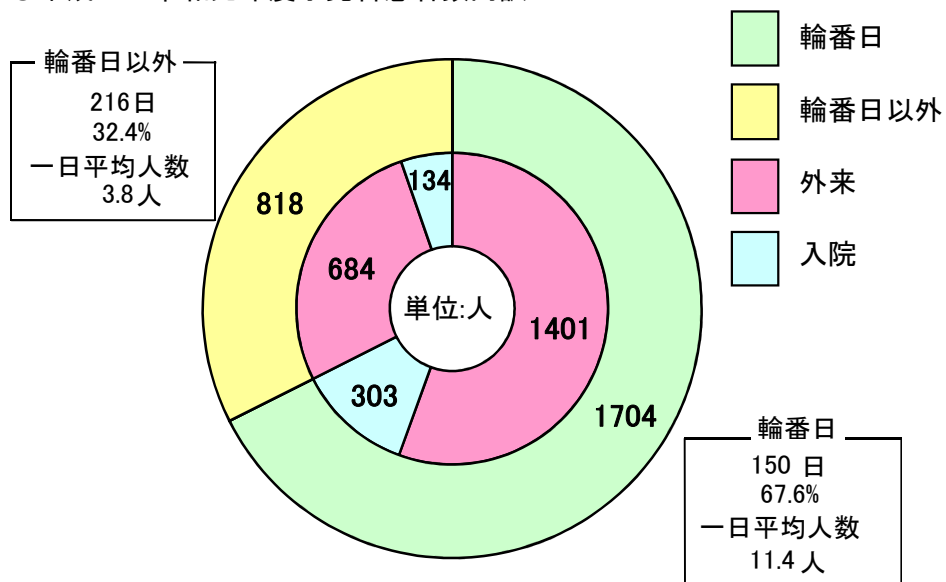
※三次救急医療施設からの紹介18件あり
(近森病院9件、高知赤十字病院8件、県外1件)

令和元年度 月別三次患者数(紹介患者別)



12.令和元年度 救命救急センター取扱小児科患者内訳(輪番日別)

●平成27～令和元年度小児科患者数内訳

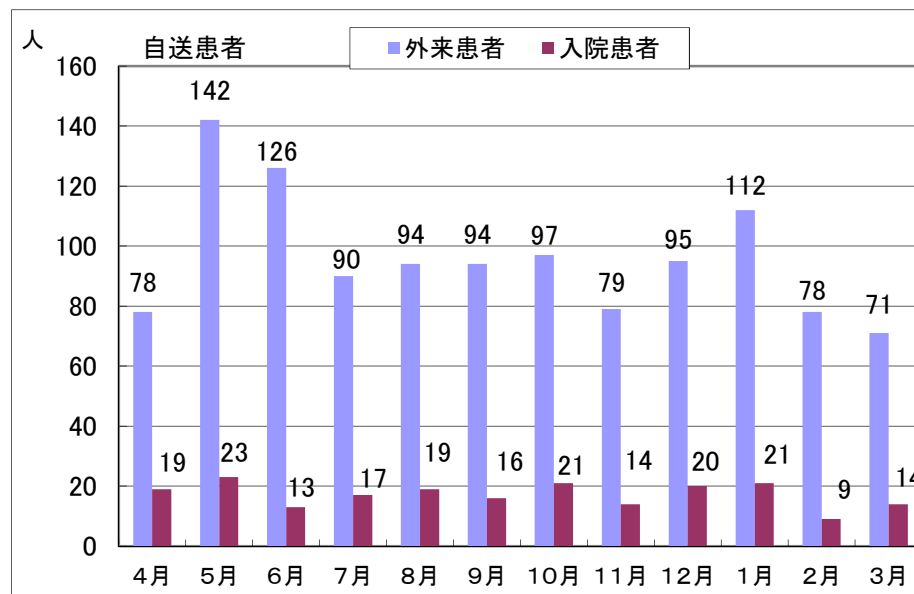
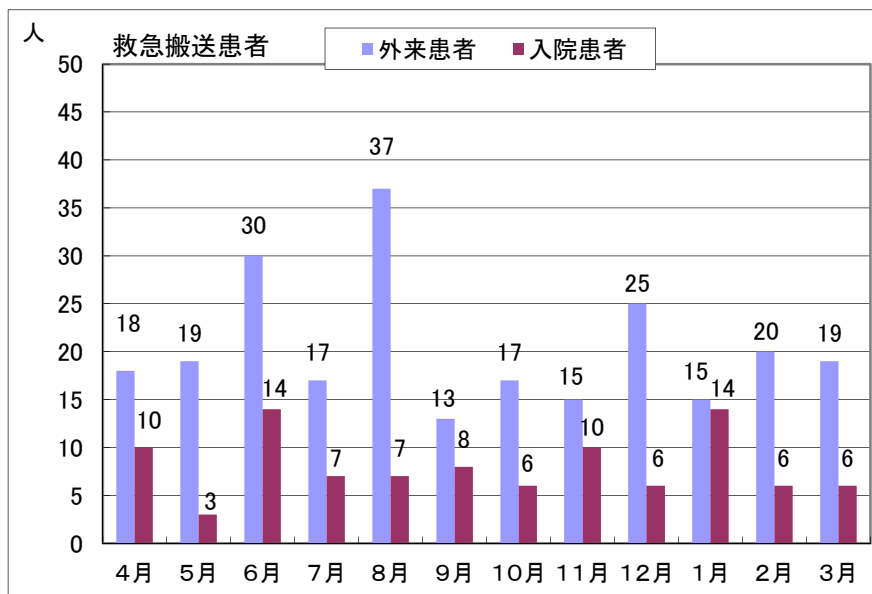


	人数	%	一日平均
入院	437	17.3%	6.9
外来	2,085	82.7%	
小児科全体	2,522	100.0%	

年度別患者数

年度	輪番日患者数			輪番日以外患者数			小児科患者合計		
	患者数	日数	一日平均	患者数	日数	一日平均	患者数	日数	一日平均
R1	1,704	150	11.4	818	216	3.8	2,522	366	6.9
H30	1,693	143	11.8	840	222	3.8	2,533	365	6.9
H29	1,856	143	13.0	926	222	4.2	2,782	365	7.6
H28	2,009	142	14.1	923	223	4.1	2,932	365	8.0
H27	1,997	144	13.9	982	222	4.4	2,979	366	8.1

●輪番日における小児科患者搬送別・入院患者数



13. 令和元年度 t-PA施行症例数_月別推移

単位:人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R1	4	10	6	5	2	7	2	9	9	3	9	6	72
H30	4	7	8	8	5	7	5	8	4	6	2	5	69
H29	7	4	8	7	5	6	9	3	10	7	12	6	84
H28	12	5	5	8	10	7	8	12	9	10	10	8	104
H27	1	7	6	6	9	9	9	9	16	12	10	11	105
H26	2	3	4	2	2	1	3	5	2	1	4	4	33
H25	2	2	2	2	3	1	4	5	3	0	0	3	27

14. 令和元年度 来院時の年間重篤患者数

来院時の年間重篤患者数(平成31年4月～令和2年3月)

注1) 来院時の患者の状態を基にして記入する。病棟入院中の状態悪化や手術後の集中管理のために救命救急センターで受け入れた患者は除く。

注2) 一つの症例で複数の項目に該当する場合は、各基準に照らし合わせ1～19の項目の中で最も適切と判断されるものを選択する。

注3) 10.「敗血症性ショック」は「敗血症」の内数のため、各人数は敗血症>敗血症性ショックとなる。

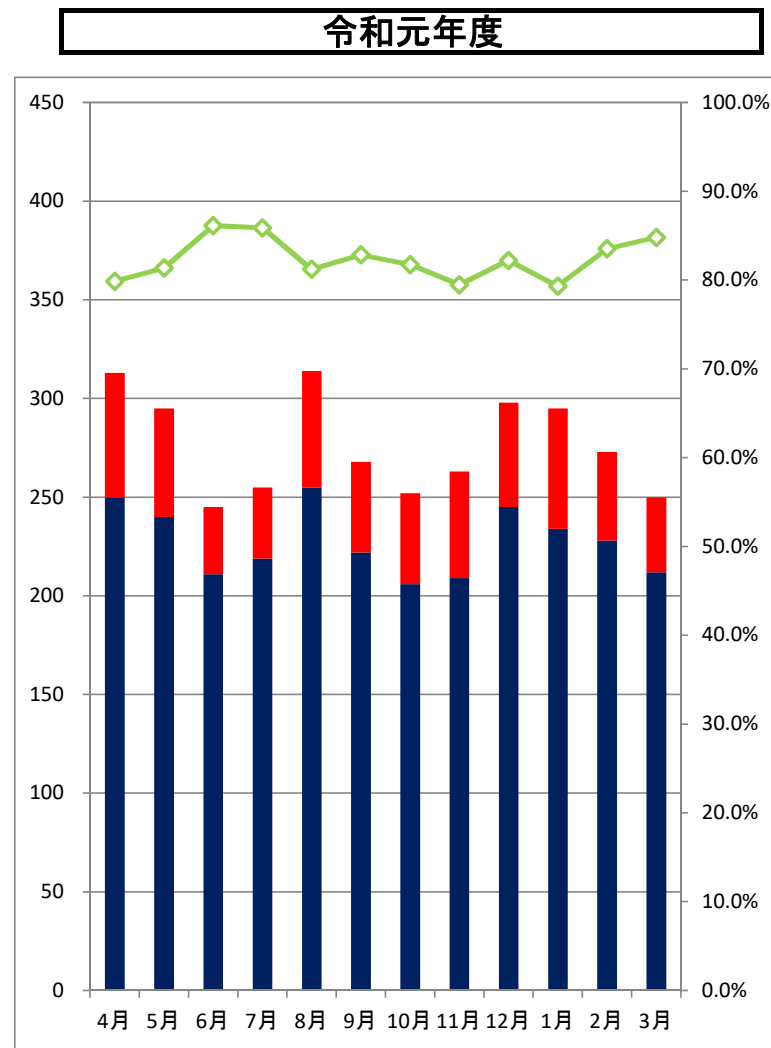
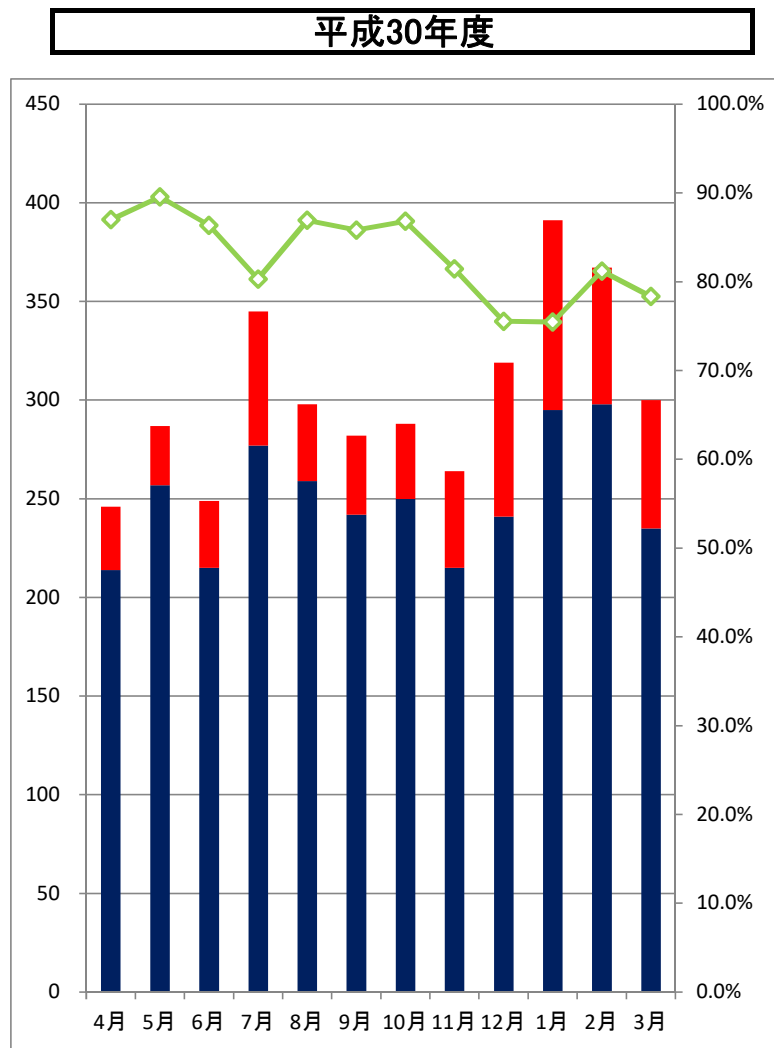
番号	疾病名	基準(基準を満たすもののみ数えること)	患者数 (人)	転帰	
				退院・転院 (転帰を含む) (人)	死亡 (人)
1	病院外心停止	病院への搬送中に自己心拍が再開した患者及び外来で死亡を確認した患者を含む。	112	9	103
2	重症急性冠症候群	切迫心筋梗塞又は急性心筋梗塞と診断された患者若しくは緊急冠動脈カテーテルによる検査又は治療を行った患者	91	82	9
3	重症大動脈疾患	急性大動脈解離又は大動脈瘤破裂と診断された患者	30	22	8
4	重症脳血管障害	来院時JCS100以上であった患者、開頭術、血管内手術を施行された患者又はtPA療法を施行された患者	138	107	31
5	重症外傷 ※注2参照	Max AISが3以上であった患者(緊急手術が行われた症例は含まない)	51	49	2
		緊急手術が行われた患者(Max AISが3以上であった患者は含まない)	6	6	0
		Max AISが3以上かつ緊急手術が行われた患者	49	47	2
6	指肢切断 (四肢もしくは指趾の切断)	四肢もしくは指趾の切断ないし不全切断と診断され、再接合術が実施された患者	0	0	0
7	重症熱傷	Artzの基準により重症とされた患者	1	0	1
8	重症急性中毒	来院時JCS100以上であった患者又は血液浄化法を施行された患者	6	6	0
9	重症消化管出血	緊急内視鏡による止血術を行った患者	53	50	3
10	敗血症	感染症によって重篤な臓器障害を引き起こされた患者	173	157	16
	敗血症性ショック	敗血症に急性循環不全を伴い、細胞組織障害および代謝異常が重度となる患者	46	38	8
11	重症体温異常	熱中症又は偶発性低体温症で臓器不全を呈した患者	13	12	1
12	特殊感染症	ガス壊疽、壊死性筋膜炎、破傷風等と診断された患者	9	9	0
13	重症呼吸不全	呼吸不全により、人工呼吸器を使用した患者(1から12までを除く。)	51	32	19
14	重症急性心不全	急性心不全により、人工呼吸器を使用した患者又はSwan-Ganzカテーテル、PCPS若しくはIABPを使用した患者(1から12までを除く。)	52	46	6
15	重症出血性ショック	24時間以内に10単位以上の輸血が必要であった患者(1から12までを除く。)	13	11	2
16	重症意識障害	来院時JCS100以上の状態が24時間以上持続した患者(1から12までを除く。)	73	60	13
17	重篤な肝不全	肝不全により、血漿交換又は血液浄化療法を施行された患者(1から12までを除く。)	3	1	2
18	重篤な急性腎不全	急性腎不全により、血液浄化療法を施行された患者(1から12までを除く。)	20	17	3
19	その他の重症病態	重症膵炎、内分泌クリーゼ、溶血性尿毒症性症候群等に対して持続動注療法、血漿交換又は手術療法を施行された患者(1から18までを除く。)	1	1	0
合 計			945	724	221

「5.重症外傷」の内訳

		患者数 (人)	退院・転院 (転帰を含む) (人)	死亡 (人)
AIS \geq 3	AIS \geq 3が2部位以上	31	29	2
	開放骨折	4	4	0
	その他	65	63	2
緊急手術施行例 (AIS<3)	開放骨折	0	0	0
	その他	6	6	0
		106	102	4

15. 応需率調べ

1. 月別応需率

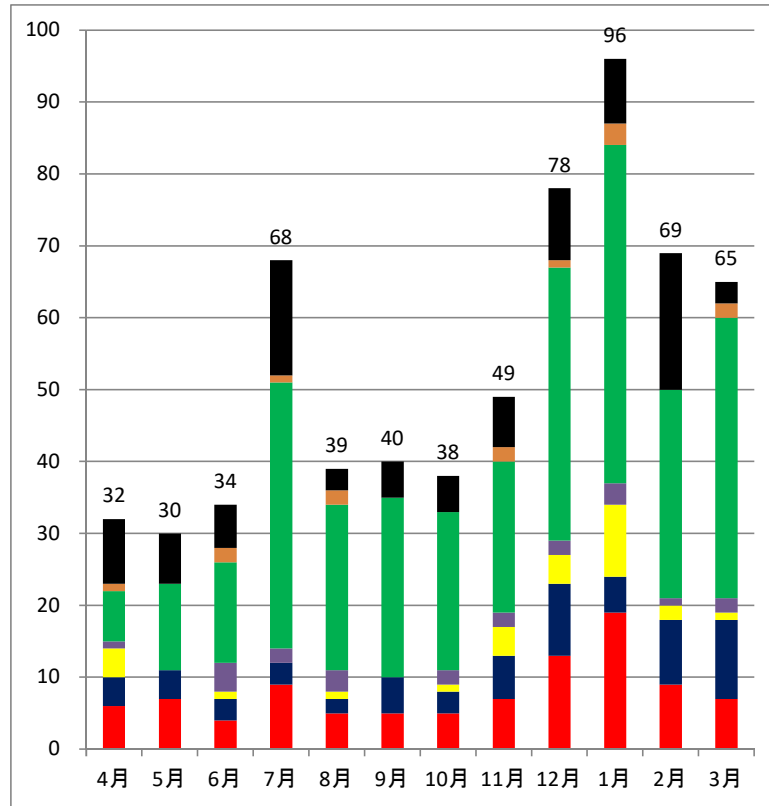


平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要請件数(件)	246	287	249	345	298	282	288	264	319	391	367	300	3,636
■受入件数(件)	214	257	215	277	259	242	250	215	241	295	298	235	2,998
■収容不可(件)	32	30	34	68	39	40	38	49	78	96	69	65	638
◆応需率(%)	87.0%	89.5%	86.3%	80.3%	86.9%	85.8%	86.8%	81.4%	75.5%	75.4%	81.2%	78.3%	82.5%

令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要請件数(件)	313	295	245	255	314	268	252	263	298	295	273	250	3,321
■受入件数(件)	250	240	211	219	255	222	206	209	245	234	228	212	2,731
■収容不可(件)	63	55	34	36	59	46	46	54	53	61	45	38	590
◆応需率(%)	79.9%	81.4%	86.1%	85.9%	81.2%	82.8%	81.7%	79.5%	82.2%	79.3%	83.5%	84.8%	82.2%

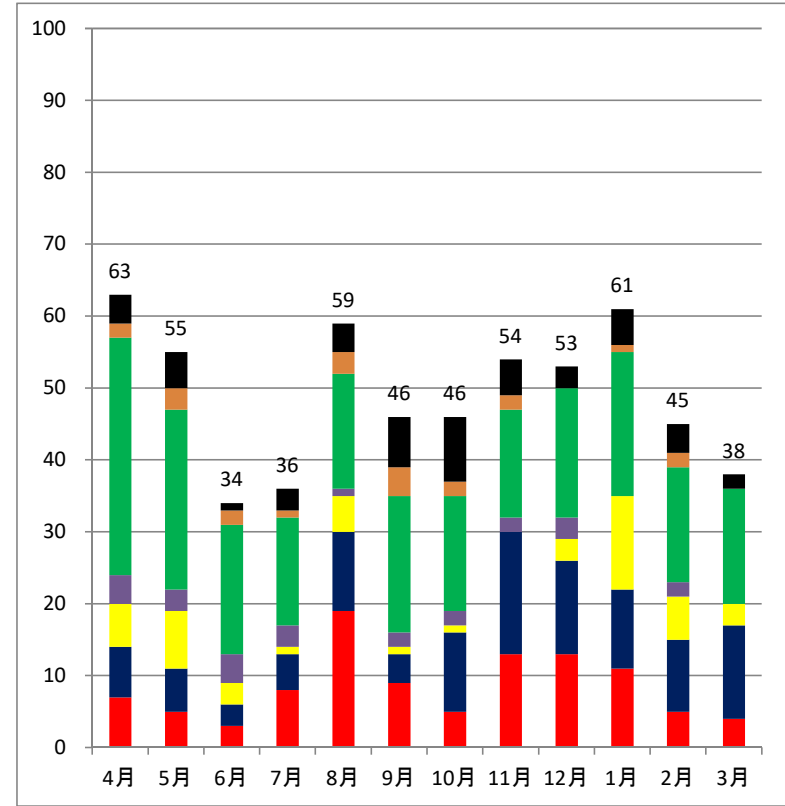
2. 收容不可理由別件数

平成30年度



平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急車・ヘリ重複	6	7	4	9	5	5	5	7	13	19	9	7	96
OP対応不可	4	4	3	3	2	5	3	6	10	5	9	11	65
満床	4	0	1	0	1	0	1	4	4	10	2	1	28
小児輪番を勧める	1	0	4	2	3	0	2	2	2	3	1	2	22
かかりつけ・近医・1次2次を勧める	7	12	14	37	23	25	22	21	38	47	29	39	314
特殊科	1	0	2	1	2	0	0	2	1	3	0	2	14
その他	9	7	6	16	3	5	5	7	10	9	19	3	99
合計	32	30	34	68	39	40	38	49	78	96	69	65	638

令和元年度



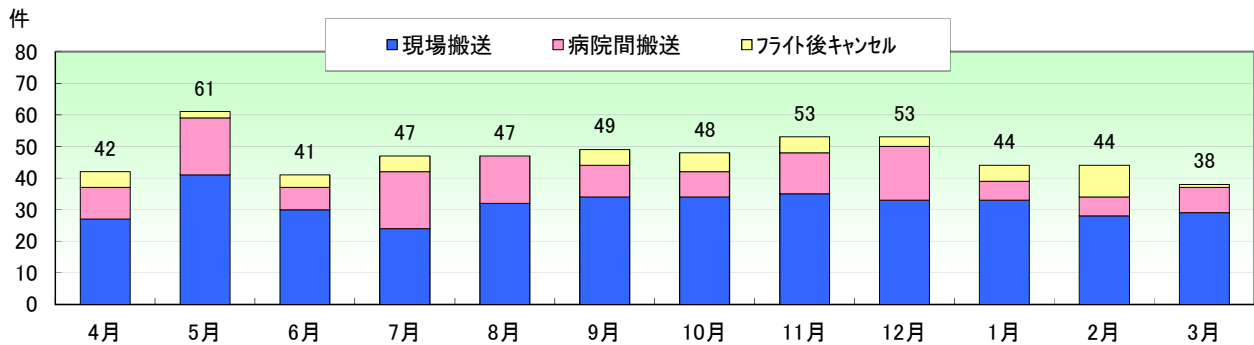
令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急車・ヘリ重複	7	5	3	8	19	9	5	13	13	11	5	4	102
OP対応不可	7	6	3	5	11	4	11	17	13	11	10	13	111
満床	6	8	3	1	5	1	1	0	3	13	6	3	50
小児輪番を勧める	4	3	4	3	1	2	2	2	3	0	2	0	26
かかりつけ・近医・1次2次を勧める	33	25	18	15	16	19	16	15	18	20	16	16	227
特殊科	2	3	2	1	3	4	2	2	0	1	2	0	22
その他	4	5	1	3	4	7	9	5	3	5	4	2	52
合計	63	55	34	36	59	46	46	54	53	61	45	38	590

16. ドクターヘリ出動実績集計表(令和元年度)

①出動内訳

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和元年度合計	平成30年度合計
ドクターヘリ出動		42	61	41	47	47	49	48	53	53	44	44	38	567	661
出動区分	現場搬送	27	41	30	24	32	34	34	35	33	33	28	29	380	449
	病院間搬送	10	18	7	18	15	10	8	13	17	6	6	8	136	151
	フライト後キャンセル	5	2	4	5	0	5	6	5	3	5	10	1	51	61
1日あたり件数		1.40	1.97	1.37	1.52	1.52	1.63	1.55	1.77	1.71	1.42	1.57	1.23	1.55	1.81
徳島県ドクターヘリ出動 (高知県への出動分)		1	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	1	6	4
出動区分	現場搬送	1	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	1	6	4
	病院間搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	フライト後キャンセル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛県ドクターヘリ出動 (高知県への出動分)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
出動区分	現場搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	病院間搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	フライト後キャンセル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

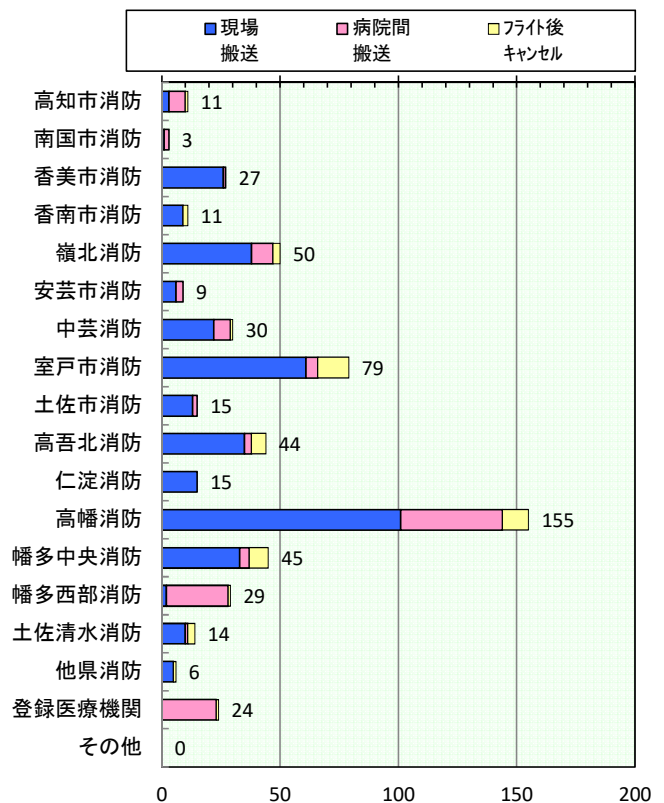
※徳島県ドクターヘリは平成26年7月31日から、愛媛県ドクターヘリは平成30年7月1日から集計開始。



②出動内訳(消防別)

※ドクターヘリ出動分

消防名	合計	令和元年度			平成30年度合計
		現場搬送	病院間搬送	フライト後キャンセル	
高知市消防	11	3	7	1	7
南国市消防	3	1	2	0	3
香美市消防	27	26	1	0	37
香南市消防	11	9	0	2	23
嶺北消防	50	38	9	3	46
安芸市消防	9	6	3	0	36
中芸消防	30	22	7	1	30
室戸市消防	79	61	5	13	83
土佐市消防	15	13	2	0	28
高吾北消防	44	35	3	6	56
仁淀消防	15	15	0	0	13
高幡消防	155	101	43	11	166
幡多中央消防	45	33	4	8	61
幡多西部消防	29	2	26	1	42
土佐清水消防	14	10	1	3	6
他県消防	6	5	0	1	2
登録医療機関	24	0	23	1	20
その他	0	0	0	0	2
出動件数	567	380	136	51	661



③ドクターヘリ他院搬送実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和元年度		平成30年度 合計
		小計													合計	
近森病院	現場	5	9	4	5	5	6	8	4	4	5	5	5	65	85	89
	転院	2	3	1	2	2	1	1	4	2	1	1	1	20		
高知大学医学部 附属病院	現場		1		1		1		1				1	5	24	26
	転院	3	3		2	2	1	3	3			1	1	19		
高知赤十字病院	現場		4	5	1	2	6	4	5	8	3	4	2	44	57	8
	転院			1	2	3		1	2	3			1	13		
あき総合病院	現場	1	2	2		1		3			1	1	1	12	13	2
	転院					1								1		
幡多けんみん 病院	現場		4	1	1	2	1	1		1	2	1	4	18	18	12
	転院													0		
その他県内	現場					1								1	1	3
	転院													0		
県外	現場	1	1	1	1					1				5	16	15
	転院		2		2	1		1		2	1		2	11		
合計	現場	7	21	13	9	11	14	16	10	14	11	11	13	150	214	155
	転院	5	8	2	8	9	2	6	9	7	2	1	5	64		

④ドクターヘリ年度別運航実績

